


新型コロナウイルス感染症による影響について

芦屋市福祉部高齢介護課




■ 新型コロナウイルスによる フレイルへの影響

■ 相談状況

罹患することを恐れ引きこもることで筋力低下や意欲低下する負のスパイラルがみられている。長期間の自粛により高齢者の活動性は低下している。最も影響のあった期間（令和2年3月から6月）で高齢者生活支援センターの新規相談数は20%減少している。

■ 通いの場の状況

2月下旬から市施設が自粛要請で利用できなくなり、6月より徐々に利用可能になっているが十分な状況ではない。



■ フレイルに対する課題と検証

■ 課題

外出を控える状況になり、筋力・意欲低下が進んでいる。

■ 検証

- ①非該当の方がフレイルになり、要支援、要介護になっている可能性が高い。
- ②フレイルの進行が早く、申請時点で既に要介護状態になっている方が増加している可能性がある。

■ 高齢者生活支援センター 新規相談件数一覧

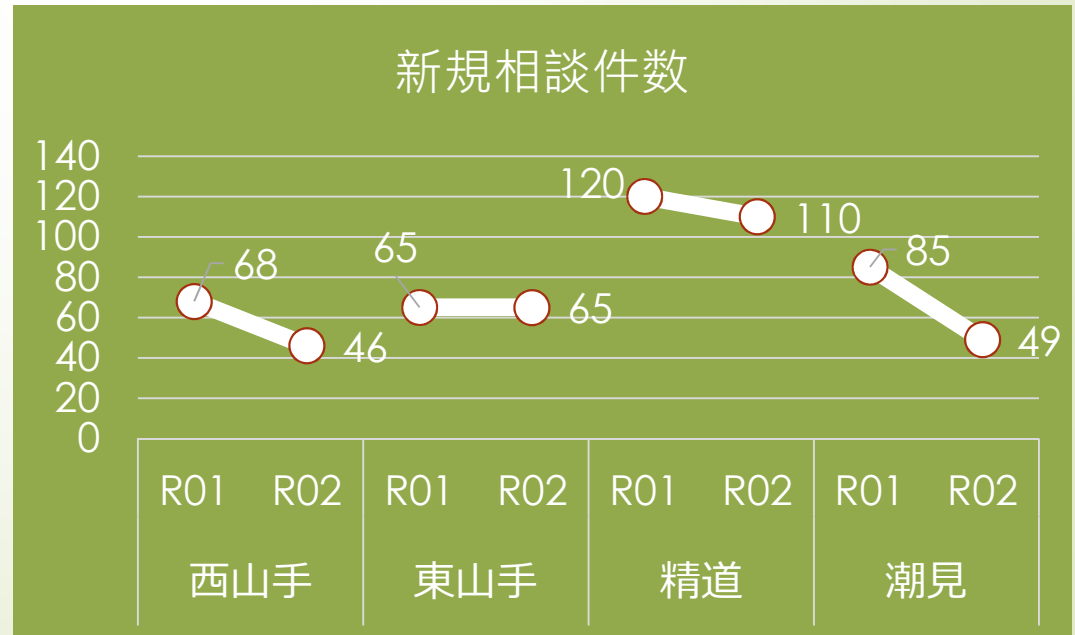
	西山手	東山手	精道	潮見	累計	減少率
H31.3	21	9	34	20	84	
H31.4	17	23	24	28	92	
R01.5	14	18	32	21	85	
R01.6	16	15	30	16	77	
累計	68	65	120	85	338	
R02.3	10	14	37	12	73	13%
R02.4	13	13	20	20	66	28%
R02.5	9	20	25	9	63	26%
R02.6	14	18	28	8	68	12%
累計	46	65	110	49	270	20%

芦屋市地域包括支援センター連絡会 報告資料より

■ 高齢者生活支援センター 新規相談件数

高齢者生活支援センターへの新規相談件数は前年同月比で68人減少し、その減少率は20%であった。

	新規相談件数	減少率
令和元年度	338	-
令和2年度	270	20%



■ 要介護・要支援認定申請 結果一覽

	非該当	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	累計
H31.3	14	58	20	28	10	8	3	4	145
H31.4	4	44	5	21	1	4	4	4	87
R01.5	6	41	11	15	4	8	4	0	89
R01.6	8	41	10	18	5	5	7	5	99
累計	32	184	46	82	20	25	18	13	420
R02.3	9	37	21	20	11	6	7	3	114
R02.4	2	37	14	21	6	3	3	6	92
R02.5	1	19	11	15	3	4	4	2	59
R02.6	1	35	5	17	8	3	2	3	74
累計	13	128	51	73	28	16	16	14	339

■ 要介護・要支援認定申請 結果【割合】一覽

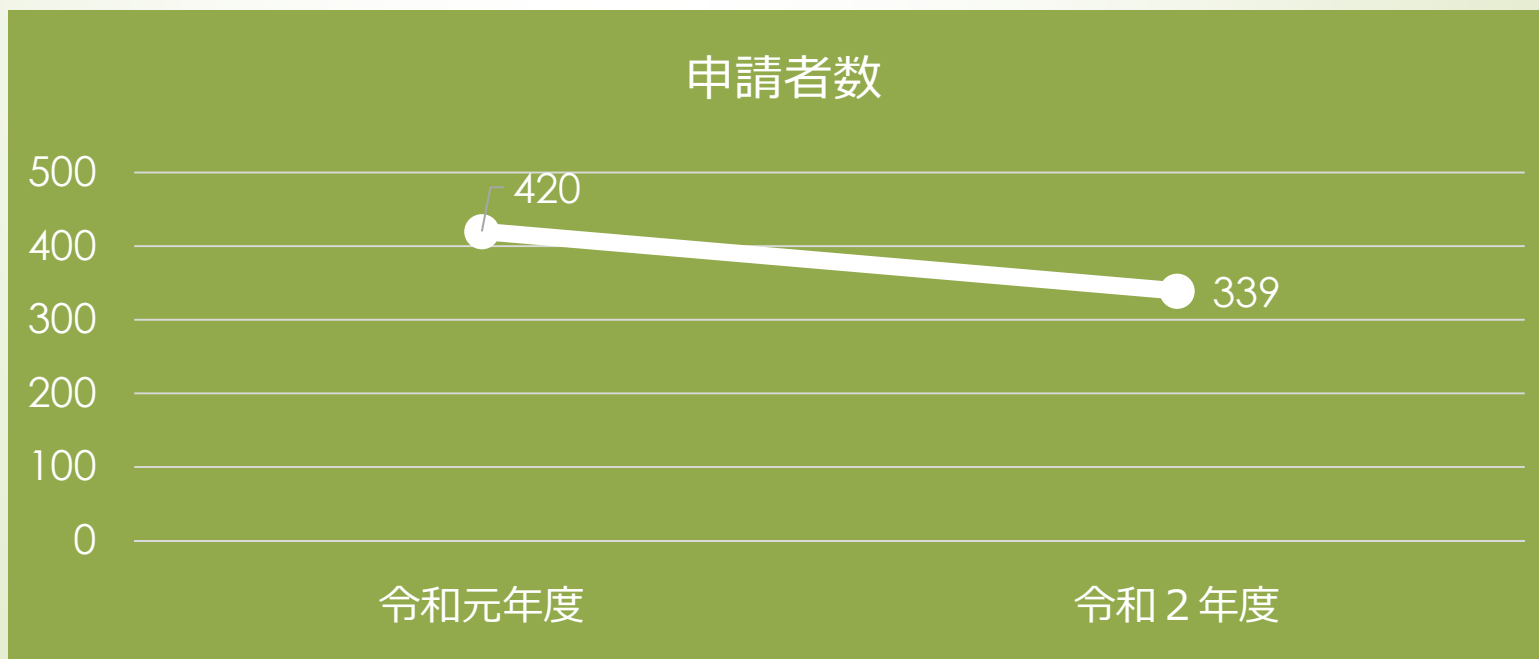
	非該当	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	累計
H31.3	10%	40%	14%	19%	7%	6%	2%	3%	100%
H31.4	5%	51%	6%	24%	1%	5%	5%	5%	100%
R01.5	7%	46%	12%	17%	4%	9%	4%	0%	100%
R01.6	8%	41%	10%	18%	5%	5%	7%	5%	100%
累計	8%	44%	11%	20%	5%	6%	4%	3%	100%
R02.3	8%	32%	18%	18%	10%	5%	6%	3%	100%
R02.4	2%	40%	15%	23%	7%	3%	3%	7%	100%
R02.5	2%	32%	19%	25%	5%	7%	7%	3%	100%
R02.6	1%	47%	7%	23%	11%	4%	3%	4%	100%
累計	4%	38%	15%	22%	8%	5%	5%	4%	100%

芦屋市 介護保険システム ADWORLDより抽出

■ 要介護・要支援認定申請者数

要介護認定の申請者数は前年同月比で81人減少し、その減少率は19%であった。

	申請者数	減少率
令和元年度	420	-
令和2年度	339	19%

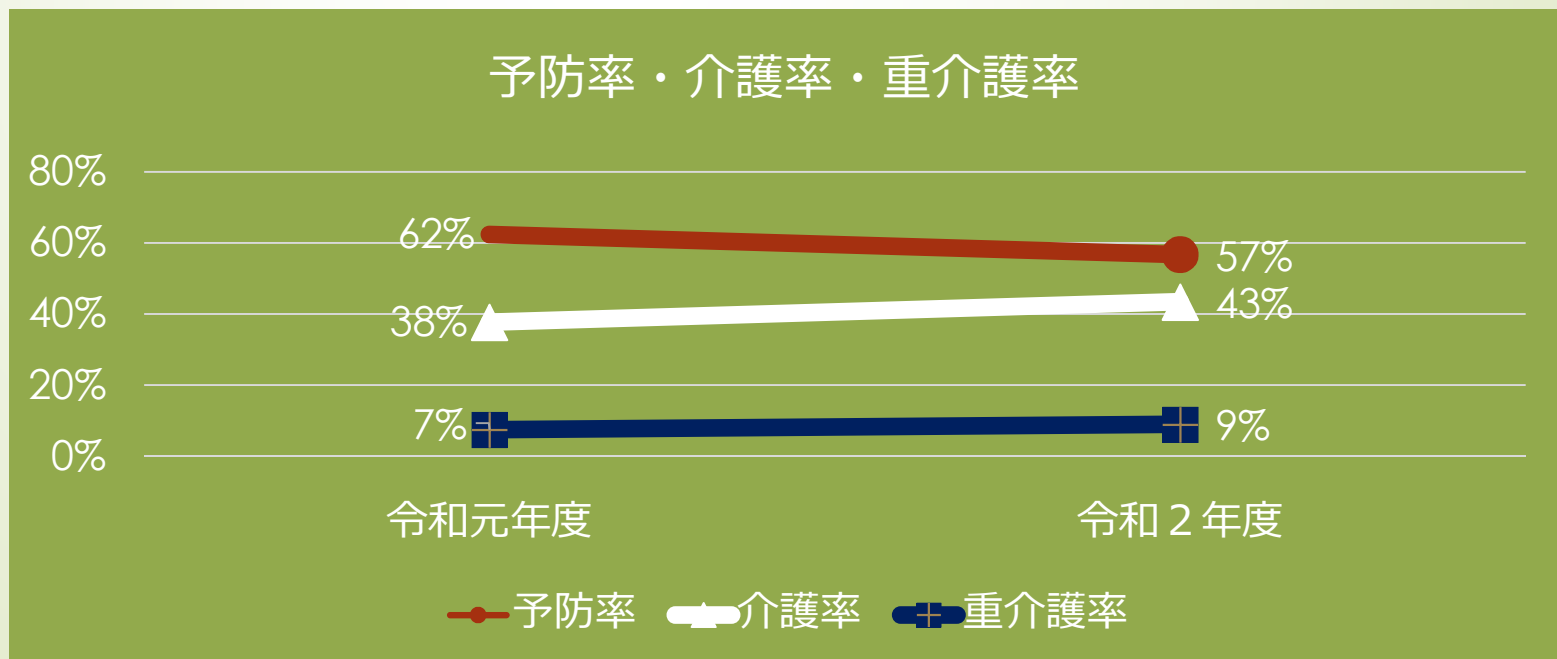


■ 予防率・介護率・重介護率

介護予防（要支援1, 2）の割合は減少し，要介護（要介護1, 2, 3），重介護（4, 5）の割合は上昇し，要介護認定の割合上昇率は15%あった。（前年同月比）

	予防率	介護率	上昇率	重介護率	上昇率
令和元年度	62%	38%	-	7%	-
令和2年度	57%	43%	15%	9%	20%

※介護予防は「非該当及び要支援」，要介護は「要介護1から5」，重介護は「要介護4, 5」



■ 受診者数・医療費 (65歳以上国保被保険者)

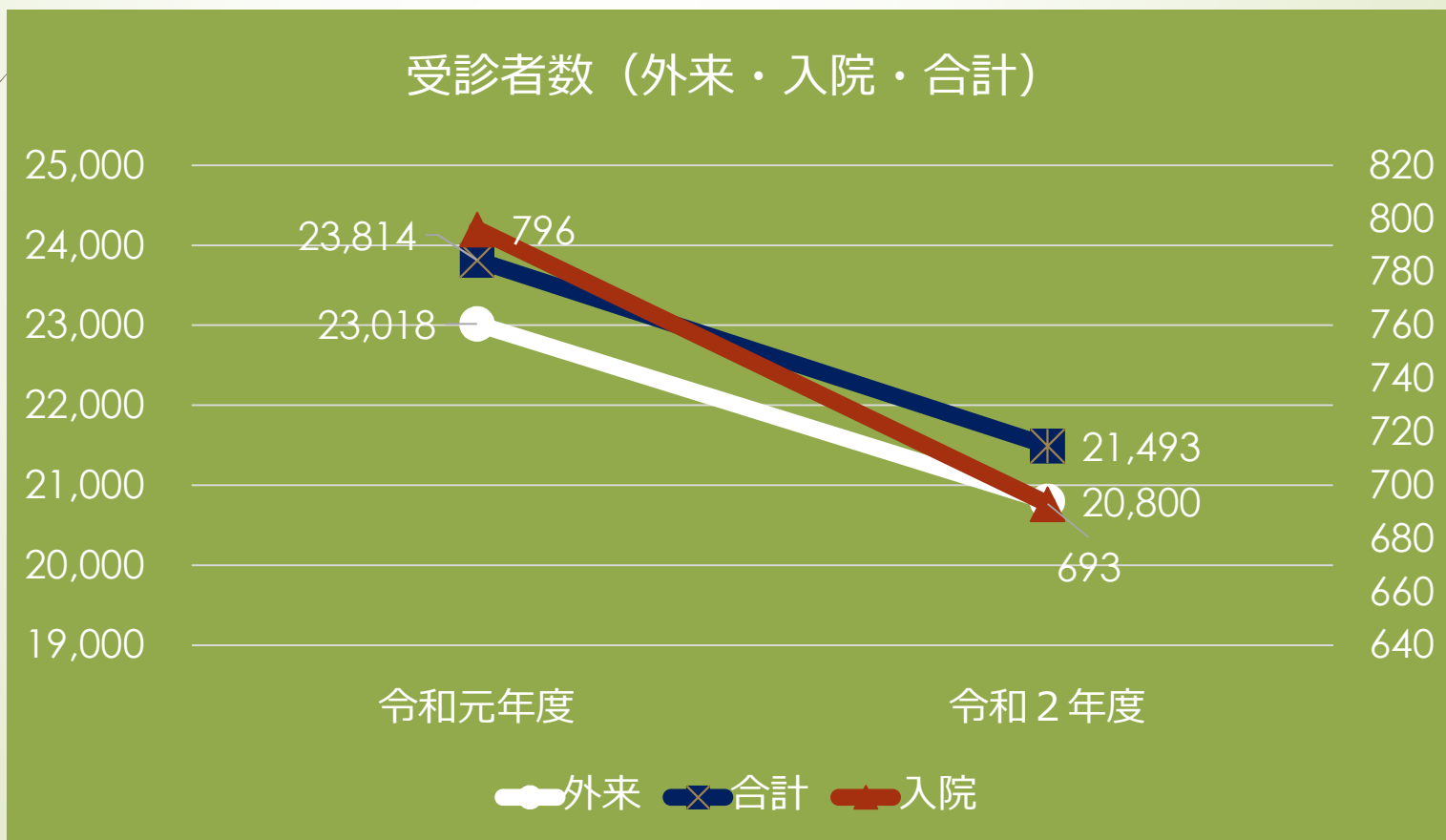
	外来				入院				合計			
	受診者数	減少率	医療費	減少率	受診者数	減少率	医療費	減少率	受診者数	減少率	医療費	減少率
H31.3	5,664		139,396,020		204		134,653,550		5,868		274,049,570	
H31.4	5,933		148,775,670		192		132,089,270		6,125		280,864,940	
R01.5	5,704		145,177,480		195		129,088,940		5,899		274,266,420	
R01.6	5,717		143,554,750		205		142,988,350		5,922		286,543,100	
累計	23,018	0.0%	576,903,920	0.0%	796	0.0%	538,820,110	0.0%	23,814	0.0%	1,115,724,030	0.0%
R02.3	5,248	7.3%	129,806,610	6.9%	194	4.9%	140,900,270	-4.6%	5,442	7.3%	270,706,880	1.2%
R02.4	5,158	13.1%	118,520,710	20.3%	168	12.5%	111,617,580	15.5%	5,326	13.0%	230,138,290	18.1%
R02.5	4,926	13.6%	114,286,170	21.3%	155	20.5%	106,469,080	17.5%	5,081	13.9%	220,755,250	19.5%
R02.6	5,468	4.4%	139,505,870	2.8%	176	14.1%	144,819,220	-1.3%	5,644	4.7%	284,325,090	0.8%
累計	20,800	9.6%	502,119,360	13.0%	693	12.9%	503,806,150	6.5%	21,493	9.7%	1,005,925,510	9.8%

K D Bシステムより抽出

■ 受診者数（外来・入院・合計）

病院外来受診，入院者数は減少し，全体でも減少している。
外来受診者数の減少率は9.6%あった。

	外来	減少率	入院	減少率	合計	減少率
令和元年度	23,018	-	796	-	23,814	-
令和2年度	20,800	9.6%	693	12.9%	21,493	9.7%



■ 受診者数・医療費 (65歳以上国保被保険者) 【筋骨格系疾患のレセプトがある者】

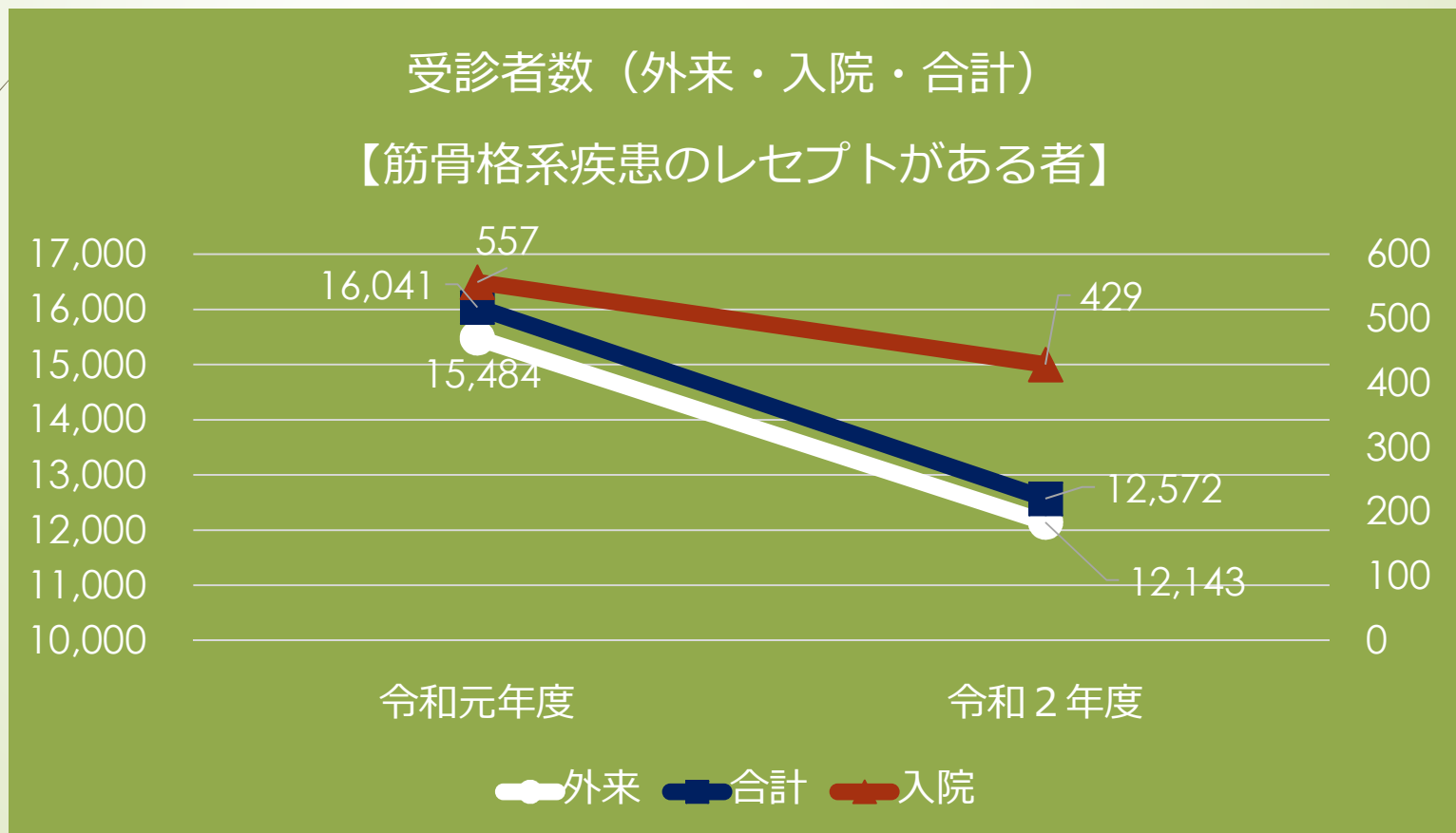
	外来				入院				合計			
	受診者数	減少率	医療費	減少率	受診者数	減少率	医療費	減少率	受診者数	減少率	医療費	減少率
H31.3	3,762		99,276,950		139		88,652,380		3,901		187,929,330	
H31.4	3,969		111,325,680		133		92,171,080		4,102		203,496,760	
R01.5	3,867		109,642,540		144		92,719,540		4,011		202,362,080	
R01.6	3,886		109,395,710		141		101,077,620		4,027		210,473,330	
累計	15,484	0.0%	429,640,880	0.0%	557	0.0%	374,620,620	0.0%	16,041	0.0%	804,261,500	0.0%
R02.3	3,522	6.4%	100,393,740	-1.1%	140	-0.7%	111,442,720	-25.7%	3,662	6.1%	211,836,460	-12.7%
R02.4	2,867	27.8%	75,338,620	32.3%	92	30.8%	61,003,110	33.8%	2,959	27.9%	136,341,730	33.0%
R02.5	2,751	28.9%	72,385,810	34.0%	94	34.7%	63,060,350	32.0%	2,845	29.1%	135,446,160	33.1%
R02.6	3,003	22.7%	86,800,810	20.7%	103	27.0%	87,781,240	13.2%	3,106	22.9%	174,582,050	17.1%
累計	12,143	21.6%	334,918,980	22.0%	429	23.0%	323,287,420	13.7%	12,572	21.6%	658,206,400	18.2%

KDBシステムより抽出

■ 受診者数（外来・入院・合計） 【筋骨格系疾患のレセプトがある者】

病院外来受診，入院者数は減少し，全体でも減少している。
外来受診者数の減少率は21.6%あった。

	外来	減少率	入院	減少率	合計	減少率
令和元年度	15,484	-	557	-	16,041	-
令和2年度	12,143	21.6%	429	23.0%	12,572	21.6%



■ 受診者数・医療費 (65歳以上国保被保険者) 【循環器系疾患のレセプトがある者】

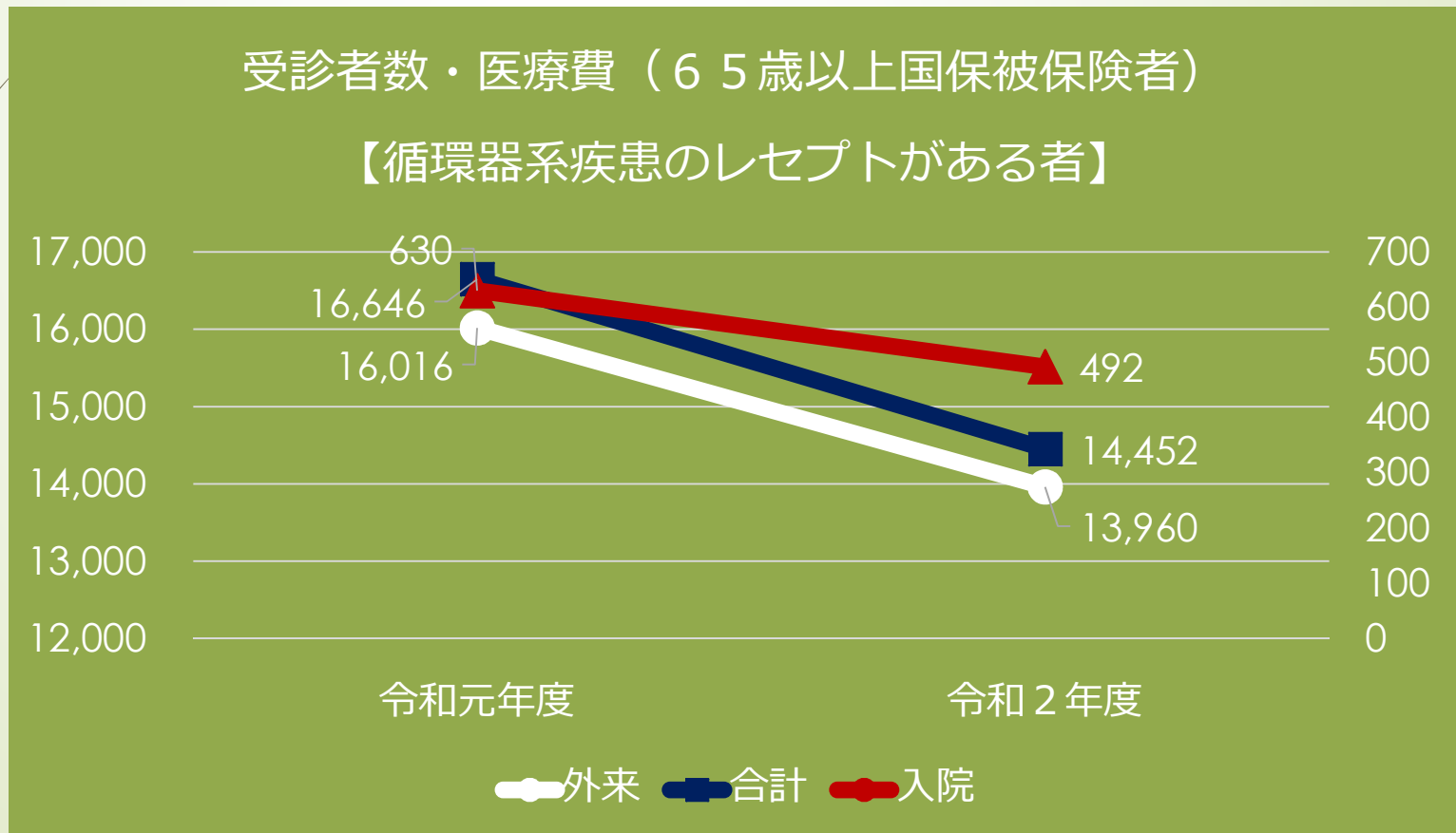
	外来				入院				合計			
	受診者数	減少率	医療費	減少率	受診者数	減少率	医療費	減少率	受診者数	減少率	医療費	減少率
H31.3	3,908		109,975,190		170		115,506,060		4,078		225,481,250	
H31.4	4,129		115,898,080		152		112,730,390		4,281		228,628,470	
R01.5	3,982		115,195,790		152		107,209,920		4,134		222,405,710	
R01.6	3,997		109,502,410		156		118,248,430		4,153		227,750,840	
累計	16,016	0.0%	450,571,470	0.0%	630	0.0%	453,694,800	0.0%	16,646	0.0%	904,266,270	0.0%
R02.3	3,720	4.8%	100,207,990	8.9%	149	12.4%	116,921,670	-1.2%	3,869	5.1%	217,129,660	3.7%
R02.4	3,465	16.1%	87,133,040	24.8%	121	20.4%	79,064,840	29.9%	3,586	16.2%	166,197,880	27.3%
R02.5	3,261	18.1%	83,412,490	27.6%	106	30.3%	72,814,380	32.1%	3,367	18.6%	156,226,870	29.8%
R02.6	3,514	12.1%	97,849,910	10.6%	116	25.6%	104,525,870	11.6%	3,630	12.6%	202,375,780	11.1%
累計	13,960	12.8%	368,603,430	18.2%	492	21.9%	373,326,760	17.7%	14,452	13.2%	741,930,190	18.0%

KDBシステムより抽出

■ 受診者数（外来・入院・合計） 【循環器系疾患のレセプトがある者】

病院外来受診，入院者数は減少し，全体でも減少している。
外来受診者数の減少率は12.8%あった。

	外来	減少率	入院	減少率	合計	減少率
令和元年度	16,016	-	630	-	16,646	-
令和2年度	13,960	12.8%	492	21.9%	14,452	13.2%



■ 介護・介護予防給付費

	介護給付		介護予防		合計	
	給付費	上昇率	給付費	上昇率	給付費	上昇率
H31.3	608,947,019		30,612,625		639,559,644	
H31.4	593,228,145		29,571,982		622,800,127	
R01.5	645,024,333		30,473,711		675,498,044	
R01.6	606,874,233		29,828,170		636,702,403	
累計	2,454,073,730		120,486,488		2,574,560,218	
R02.3	647,529,056	6.3%	26,111,364	-14.7%	673,640,420	5.3%
R02.4	627,200,859	5.7%	22,950,688	-22.4%	650,151,547	4.4%
R02.5	662,568,568	2.7%	22,691,462	-25.5%	685,260,030	1.4%
R02.6	649,276,971	7.0%	27,584,776	-7.5%	676,861,747	6.3%
累計	2,586,575,454	5.4%	99,338,290	-17.6%	2,685,913,744	4.3%

■ 地域ケア会議

【助言者】

芦屋市訪問看護ステーション：嶋田尚徳（理学療法士），永井章子（作業療法士）

西山手：木下，東山手：仲西，精道：丸谷、潮見：立木、基幹：針山，小阪

【助言内容】

■ フレイルの啓発になるプログラムが必要

- ① リハビリ職目線の体操動画を作成してはどうか。
- ② 対象は動ける方より少し状態の落ちた方。
 - ・ フレイル状態で可逆性のある状態
 - ・ 簡単な動作がいいのではないか
 - ・ 動画体操をする前にきっかけづくりのチラシが必要
- ③ 芦屋に合った動画を考える
 - ・ ご当地感（市内のリハビリ職が出演している）
 - ・ レベルアップが感じ取れる
- ④ フレイルへの気づきが織り込まれている

■ 動画の活用と啓発

- ① ホームページへの掲載が望ましい
- ② 配布方法
 - ・ 市役所，包括窓口での配布
 - ・ 医療機関にも啓発できるよう今後検討する





■ 芦屋市が取り組むべきこと

- 引きこもりの方へのアウトリーチ支援
外出を控える方のフレイル予防を啓発，提供。

- アプローチの方法
体操動画の作成

現在，調べれば様々な体操動画が自宅で視聴することで出来るが，課題は2つあると考えられる。こういった状態がフレイルなのかわからない方がいる，世の中にある動画は芦屋市内の高齢者にある問題を解消できる内容でない可能性がある。



- 芦屋市内の専門職の意見を取り入れた動画作成
高齢者に係る専門職の方が挙げるターゲット像に市内のセラピスト（PT・OT・ST）から動きについて意見もいただき上記体操動画の課題を解消する動画を作成する。

■ 体操動画とチラシ

座り姿勢で行う運動

立ち上がり運動



注意点
運動に痛みを伴う場合は控えてください
運動は説明をよく読んで行ってください



- 鍛える部位 下腹部 股関節前面
●回数 左右10回
●運動方法
①浅めに座り、肩幅に足を広げ、かかとをついた状態で、骨盤を立てた姿勢をとります
②椅子に座り膝を曲げた状態で膝を20cmほど上に持ち上げます
●ポイント 背中が丸くならないよう姿勢を正す意識をしましょう

膝まわし運動



- 鍛えられる部位 前・内腿、お尻
●回数 左右10回ずつ
●運動方法
①太ももを持ち上げて脚が浮いた状態をとります
②膝で丸を描くようにゆっくりと脚を回します
●ポイント 背中が丸くならないよう、姿勢を正す意識をしましょう

立ち上がり運動



- 鍛える部位 下半身全体の筋肉
●回数 10回
●運動方法
①ももに手を当てます
②お辞儀をして上半身を倒します
③ゆっくりと立ち上がり真っ直ぐ
④座る時もお辞儀をして座ります
●ポイント 背中が丸くならない膝が内に入らないようにしましょう

立ち姿勢で行う運動

外開き運動



注意点
運動に痛みを伴う場合は控えてください
運動は説明をよく読んで行ってください



- 鍛える部位 お尻の外側 内腿
●回数 左右10回ずつ
●運動方法
①椅子を手すりにして立ちます
②左足軸で右足を外に開きます
③左足軸のまま右足を内に閉じます
●ポイント 上半身が左右に揺れないようにしましょう

踏み込み運動



- 鍛える部位 お尻、太ももの筋肉
●回数 左右10回ずつ
●運動方法
①椅子を手すりにして立ちます
②左足を軸にして右足を50cmほど踏み込みます
③反対の足も同じように踏み込み
●ポイント 前に出した膝が爪先より前に出ないようにしましょう

スクワット運動



- 鍛える部位 お尻 太ももの筋肉
●回数 10回
●運動方法
①足は肩幅、足先を正面に向けます
②ももの付け根に手を当て、椅子に座るようお辞儀しながらしゃがむ
④上半身を起し最初の姿勢に戻る
●ポイント お尻を後ろに出しながらしゃがみましょう。膝が内に入らないようにしましょう

寝た姿勢で行う運動

お尻上げ運動



注意点
運動に痛みを伴う場合は控えてください
運動は説明をよく読んで行ってください



- 鍛える部位 お尻 体幹
●回数 10回
●運動方法
①両膝を曲げ仰向けに寝ます
②お尻→腰→背中順に持ち上げます
③背中→腰→お尻順に下ろします
●ポイント お尻を持ち上げる際、膝から肩までが一直線になるようにしましょう

あし上げ運動



- 鍛える部位 股関節前面 体幹
●回数 左右10回
●運動方法
①両足を伸ばして仰向けに寝ます
②膝を伸ばしたまま足を持ち上げます
③膝を伸ばしたままゆっくり下ろします
●ポイント 膝が床から離れないようにお腹を凹ませましょう

あし開き運動



- 鍛えられる部位 股関節側面の筋肉
●回数 左右10回
●運動方法
①横向きに寝転び、下になっている足を曲げます
②体は天井と垂直に真っ直ぐにします
③膝を伸ばしたまま片足を持ち上げます
●ポイント 足を上げる際、体を捻ったり腰を反らさないようにする



寝てできる運動



座ってできる運動



立ってできる運動

■ 新規相談件数【年間推移】

新型コロナウイルス感染症の流行初期に比べると、直近である令和3年1月の相談件数は例年並みに戻りつつある。

